

阿寒国立公園満喫プロジェクト地域協議会  
阿寒地域部会・摩周地域部会（第1回）（合同開催）  
議事概要

1. 日 時：平成28年9月13日（火）15：30～17：30
2. 場 所：阿寒湖まりむ館 多目的ホール
3. 出席者：出席者名簿のとおり
4. 議 事

■開会

○環境省釧路自然環境事務所 安田 直人 統括自然保護企画官 挨拶

■阿寒地域部会及び摩周地域部会の設置について

○事務局から資料2、参考資料1に基づき説明。

※意見等なし

■議題

（1）国立公園満喫プロジェクトについて

○環境省から資料2に基づき説明。

※意見等なし

（2）阿寒国立公園満喫プロジェクトについて

○環境省から資料3、4に基づき説明。

○北海道から資料5に基づき説明。

○阿寒国立公園の課題等（阿寒地域、川湯（摩周）地域）について、環境省各自然保護官より発表。

○意見等の概要

【美幌観光物産協会 信太事務局長】

- ・美幌峠の利用者数は、現在年間約80万人であるが、かつて最高で年間約130万人であった。自然保護官より発表のあった公園利用者数は、現在350万人程度となっているが、この内訳や算出方法についてお聞きしたい。単純に、350万人のうちの80万人が美幌峠を利用していると認識してよいものかどうか。

【環境省 安藤自然保護官、石川課長】

- ・国立公園の利用者数は本省において調査しているため、調査方法等について確認の上改めてお知らせしたい。美幌峠についても、国立公園と同様の推移の傾向を示しているの

であれば、何らかの関係性は見いだせるかもしれない。

**【阿寒観光協会まちづくり推進機構 山下専務理事】**

- ・ 富裕層や一般の方にもっと利用していただくには、「本物」でなければならない。その上では、アイヌのアート文化の品質向上、滝口線歩道の整備等を通じた自然とスポーツアクティビティの充実、高齢者や車イス利用者への対応が重要。
- ・ 現在、ビューホテル跡地に阿寒湖温泉の玄関口を整備する「フォレストガーデン構想」を進めており、満喫プロジェクトとも連携して取り組んでいきたい。
- ・ スキー場は展望が大変優れているので、頂上までゴンドラを整備して、カフェやレストランで景観を楽しみながら食事や休憩をしてもらえるような利用を考えていきたい。
- ・ 外国人旅行者をターゲットにするのであれば、公共交通機関の充実が重要である。空港と阿寒湖間をシャトルバスで結ぶなど、公共交通の拡充について引き続き関係機関とともに検討していきたい。

**【阿寒アイヌ工芸協同組合 西田代表理事】**

- ・ アイヌコタンの住人として、利用者にアイヌ文化への関心や理解を深めてもらうことが重要と考えており、アイヌの思想・精神に沿った事業の展開を望む。

**【阿寒湖温泉地区景観協議会 秋辺会長】**

- ・ 阿寒湖温泉の景観改善に取り組んでいるが、空き店舗については、まず持ち主の洗い出しする必要があるなど課題も多い。また、空き店舗を利用して商売をしたいと考えている方が、円滑に店舗を借りられるような仕組みが必要と感じている。
- ・ 海外のマネ事ではなく、阿寒にはアイヌ文化が元々あるので、それを取り入れれば良い。
- ・ 考え次第ではあるが、アクセスの悪さも逆にメリットになるのではないかと。日帰りや一泊での利用ではなく、連泊などゆっくり滞在してもらえるような場所にしていければ。ただし、その分地元としては、利用者を飽きさせないプログラムを用意するなど努力の必要がある。

**【釧路市 高玉観光振興監】**

- ・ 阿寒国立公園において、いかに利用者に消費してもらうかが重要と考えている。目標設定に当たっては、利用者の「数」と「質」をどのように考えるかが必要である。
- ・ 外国人を含めた利用者数の増加に向けては、各種の情報発信が重要である。

**【北海道経済産業局 小貫課長】**

- ・ 国内利用者については、高齢者の方々にどのような利用を提供できるかが重要となってくる。例えば、ヘルスツーリズムと組み合わせて考えていくのもよいのではないかと。

【釧路運輸支局 山崎首席運輸企画専門官】

- ・ プロモーションの考え方が重要になるだろう。利用者が何を求めているかを踏まえた上で、それに適したプロモーションを展開していく必要がある。

【阿寒国立公園川湯地域運営協会 徳永会長】

- ・ 川湯温泉街について、廃屋をなんとかしなければならぬと考えている。

【きよさと観光協会 奥山事務局長】

- ・ ビューポイントは、資料5に掲げられているものだけか。峠や展望台は他にもあるので、それらについても配慮を願いたい。
- ・ 清里町では、裏摩周展望台や神の子池に利用者が多く集まる。裏摩周展望台については、周囲の木が伸びてしまい摩周湖が見えない状況である。なんとか対応していただきたい。

【北海道生物多様性保全課 丹羽主幹】

- ・ 資料のビューポイントはあくまで一例であり、これから協議会や部会の意見を踏まえながら設定していくことを考えている。

【小清水町観光協会 成戸事務局長】

- ・ 阿寒国立公園に占める小清水町の割合はそれほどないが、阿寒国立公園の利用者が公園区域外の小清水町にも来ていただけるようになってもらえればと思う。

【弟子屈町 松岡課長】

- ・ おそらく会議の出席者の多くは、このプロジェクトは国がやってくれると思っているような気がする。国直轄で行う事業と、補助金等で道・町が行う事業もあるので、誤解がないように説明して欲しい。

【環境省 石川課長】

- ・ 資料4の3ページにもあるように、満喫プロジェクトは国、道、市町、民間団体等が連携して進めていくものである。まずは、協議会や部会においてどのような取組が必要であるかの議論を進め、その上で役割分担を検討・整理し、ステップアッププログラムに盛り込むことになる。

【前田一步園財団 石本常務理事】

- ・ 当財団が所有する森林を楽しんでもらえるよう、森の案内人に意見を聴きながら考えていきたい。

- ・利用の起点・終点まで含めて考えていくことも重要になると考える。例えば、阿寒と川湯をつなぐようなルートやメニュー、アクセスなどが検討できるとよいのではないか。

【自然公園財団阿寒湖支部 田中所長】

- ・トレイルなどの整備に当たっては、その管理体制作りも重要である。例えば、ヒグマに遭遇する危険性があるところはガイド付きでしか入れないかなど、ルール作りが必要。

【自然公園財団川湯支部 藤江所長】

- ・自然の価値は変わっていないが、利用者の価値観が変わっている。その現状を認識した上で、各種の取組や整備内容を検討していくことが必要。

【美幌町 那須主幹】

- ・ステップアッププログラムの事業主体は、民間団体を含め誰でもなり得るか。
- ・満喫プロジェクトに係る平成 28 年度補正予算がついた場合、交付金は来年度に繰り越せるのか。
- ・ビューポイントの設定のための意見の吸い上げ方法についてお聞きしたい。

【環境省 石川課長】

- ・事業主体は誰でもなり得る。国については環境省のみならず他省庁の事業もある。道や市町については、国の補助金や交付金のメニューを活用してもらうのもよいし、単独での事業もあり得ると考える。民間団体についても同様である。
- ・補正予算という性質上、早期に執行するのが原則である。補正予算関係については、北海道より各市町に照会されていると思うので、その中で必要な調整等を進めていただければと考えている。
- ・ビューポイントを含めたステップアッププログラムの内容について、まさにこの部会で様々な関係者から意見を聴き、それらを踏まえ検討していきたいと考えている。今回いただいた意見を踏まえて事務局で素案を作成し、次回の部会においてその内容について意見をお聴きしたい。

■閉会

○北海道釧路総合振興局 遠藤くらし子育て担当部長 挨拶